

富水小学校PTAお掃除ボランティア

1.概要

富水小学校PTAでは新型コロナウイルスの影響による臨時休業が明けて1か月後の7月より、週に1〜2回程度、PTA会員のボランティアによる学校内の手洗い水道周り、廊下、トイレ、昇降口や体育館を主に清掃、消毒作業を行っている。

小田原市内ではPTAによる清掃は富水小学校の他には2校のみが行っているとのこと。

2.始まった経緯

新型コロナウイルスによる臨時休業が明け6月から登校が再開されたが、コロナ禍において子どもたちの学校生活にも時間の短縮や規模縮小等の変化が生じた。

これまで子どもたちが昼休み後に行っていた清掃も行うことが出来なくなった。学校の清掃は教員や学校職員が授業や通常業務後に行うことになった。普段の清掃に子どもたちが使う机や椅子、ドアノブや電気のスイッチ等の手の触れる場所の消毒作業が加わり夜遅くまで残って清掃を行う日もあった。そのことを耳にした保護者から「PTAで何か協力できることはないか。」との声が上がリPTA会員にお掃除ボランティアを募集し7月より活動することになった。

3.経過

7月中は午前午後2時間程度の清掃、消毒作業を実施。1日に6〜8名の参加者に作業をしてもらった。

9月からは子どもたちの清掃が一部再開されたためPTAの清掃は午前のみ(日により午後のみの時もある)の活動とした。※日中の作業としているのは、子どもが学校に行っている間に時間に余裕のある保護者が多かったため。

PTAで掃除した場所に掃除したことを示す張り紙をし、学校職員が放課後に行う清掃とかぶらないようにしている。なかには張り紙がどこに貼ってあるのか探すのを楽しみにしている子どももいると聞く。作業中も教職員だけでなく子どもたちからも「ありがとうございます」と声を掛けられることもあり、保護者としてもやりがいを感じる。



4.今後

新型コロナウイルスの影響が今後どのようなようになっていくかわからないが、その影響下にある間はお掃除ボランティアを継続していく予定。現在10月末まで清掃予定日が決定している。11月以降も募集をかけ継続して行っていく。

5.おわりに

現在のコロナ禍において学校へ子どもたちを送り出す保護者には不安を感じる方もいると思います。学校職員の方々においても日々の授業やその後の業務に加えての環境整備で大変なご苦労があると思います。そうしたなか、学校で生活する子どもたちのために何かできないかと保護者から声が上がリ活動につながったことは大変ありがたく、うれしいことです。学校職員で手の足りないところは保護者ができる範囲で協力し、自分たちの子どもが通う学校がよりよい教育の場になればうれしく思います。

今後も学校と保護者が協力して、子どもたちの安全と安心を守るために活動していきたいと思っています。

令和2年度

小田原市立富水小学校

PTA会長関野良介